

みちづ
in KUMAMOTO

道守九州会議交流会
2004

九州各县の「道守」が熊本に集合

”道“が舞台の地域づくりを探る

古田勝人氏

(熊本県知事代理・熊本県出納長)

道路を身近にし、道と人との関係をいかに強めていくかが大事。熊本県では、道を守る方々を「ロード・クリーン・ボランティア」として、現在104団体、約380人が活動を支援している。交流会を通じて、積極的な提案をいただきたい。

幸山政史氏

(熊本市長)

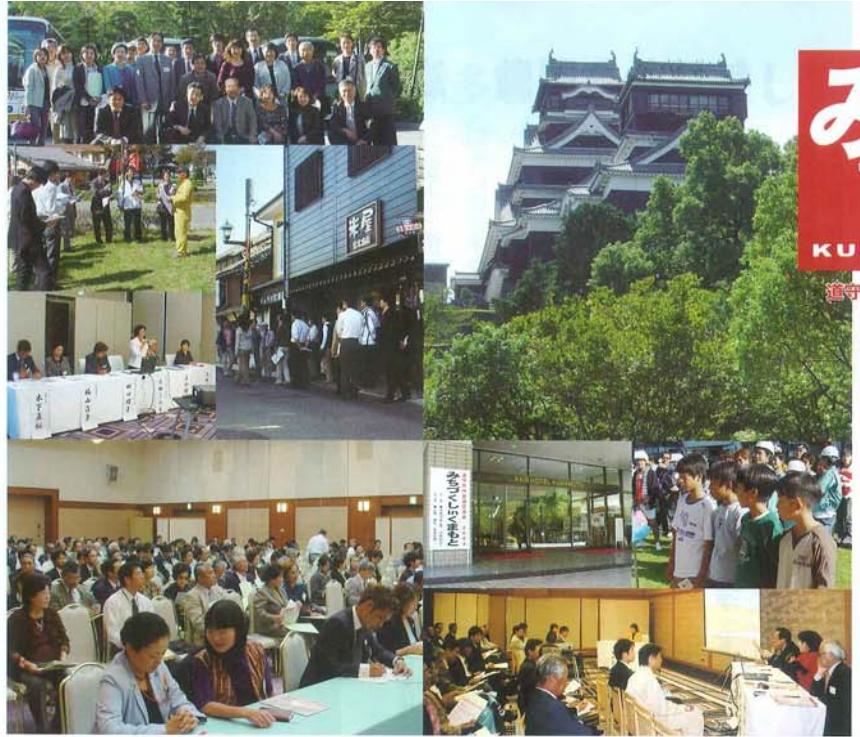
これから街づくりは、地方にできることは地方にという考え方に基づき、進めていかなければならぬ。知恵と力を出し合はることで、現在104団体、約380人が活動を支援している。交流会を通じて、積極的な提案をいただきたい。

坂本正氏

(熊本学園大学長・くまもと道のフォーラム代表)

過去100年、道を作る人、使う人といふ役割分担で二極化が進んだ。米づくり文化が育んだ日本の原点に帰つて、道づくりと一緒に進むことが道守会議の精神。歴史、文化を運んでくるものが「道」。文化と歴史を大事にすることで、住民参加の街づくりではなく、心の美しさが見える地城づくりを進めていきたい。

「開会セレモニーから」



九州の道守たちが交流
全体報告会終了後、屋外に場所を変え、道守交流集会が開かれた。道守九州会議総会として、道守の世話を学ぶこと、道の文化をいかに推進するのか、道の抱負などを述べた。各県の参加者は、情報を交換し合うなどして、道守同士の交流を深めた。

「熊本城ぐるりんめぐり」

翌16日は秋晴れ。みゆき坂・熊本城・本丸・天守閣・長堀と、熊本城周辺の歴史の道を2時間かけて散策した。また同時に、薩摩街道と豊後街道を巡るバスツアーも開かれ、それぞれの地域で歴史の道やボランティアサポート・プログラムの見学を行った。

「道」の文化を再発見

過去100年、道を作る人、使う人といふ役割分担で二極化が進んだ。米づくり文化が育んだ日本の原点に帰つて、道づくりと一緒に進むことが道守会議の精神。歴史、文化を運んでくるものが「道」。文化と歴史を大事にすることで、住民参加の街づくりではなく、心の美しさが見える地城づくりを進めていきたい。

「開会セレモニーから」

16日は熊本城を会場に、歴史街道を散策する熊本城ぐるりんめぐり、人をかごに乗せて競争する「爆笑かごかきレース」を行い、交流を深めた。

「開会セレモニーから」

15日は「清掃美化」「歴史」「景観」「祭り」「交通」「観光」の6つのテーマで分科会を開催。活動団体のリーダーらが座長となつて現状や課題などについて話し合い、これから地域づくりにおける「道守」の役割を確認した。

道を散策する熊本城ぐるりんめぐり、人をかごに乗せて競争する「爆笑かごかきレース」を行い、交流を深めた。

記念講演「歴史街道に学ぶ」

歴史・自然・人とのふれあい 参勤交代道の旅27年



阿南誠志氏
(自然を愛する会代表)

単なる休憩所ではなく、農産物や独自の料理など、地域情報の発信場所としても機能している「道の駅」は、行政の仕事の中では抜きん出て、評価できるものの一つです。道はただ通過するものではありません。立ち寄る場所が必要です。

私は、27年間、大分から熊本まで、参勤交代道を多くの小学生、中学生と一緒に歩かせていただいております。二百人もが参加して、一週間かけて歩くというこの行事が、長く続いている最大の理由は、国や地方自治体から一切の補助を受けなかつたからです。補助金で運営されていたら予算が下りなくなつた時点で終了していただしよう。

今、定員200名ですが、毎年参加する子どもたちが多くて、一般募集ができないなくなつてしましました。そこで、機能能していまことを教えてくれました。

薩摩街道を歩く、豊前街道を歩くといふプログラムも始めたのです。九州にはいい道が沢山残っています。皆さん、是非これを活かしてください。応援は惜しみません。

【講師プロフィール】

熊本市の登山専門店「シェルバ」経営。「自然を愛する会」主催の登山

は、海外を含め年に約40回。

大分から熊本まで参勤交代の道

の歴史に触れている感じがするのです。

東京から熊本まで、40人の子どもたち

は、いい道が沢山残っています。皆さん、是非これを活かしてください。応援は惜しみません。

【講師プロフィール】

熊本市の登山専門店「シェルバ」経

営。「自然を愛する会」主催の登山

は、海外を含め年に約40回。

大分から熊本まで参勤交代の道

の歴史に触れている感じがするのです。

東京から熊本まで、40人の子どもたち

は、いい道が沢山残っています。皆さん、是非これを活かしてください。応援は惜しみません。

私たち、大学生のボランティアも含めて270人がおそろいの参道登を被つて歩きます。それだけで、300年の歴史に触れている感じがするのです。

薩摩街道を歩く、豊前街道を歩くといふ企画を続けている。熊本県

鹿本郡菊鹿町在住。

阿南誠志氏
(自然を愛する会代表)

は、海外を含め年に約40回。

大分から熊本まで参勤交代の道

の歴史に触れている感じがするのです。

東京から熊本まで、40人の子どもたち

は、いい道が沢山残っています。皆さん、是非これを活かしてください。応援は惜しみません。

【講師プロフィール】

熊本市の登山専門店「シェルバ」経

営。「自然を愛する会」主催の登山

は、海外を含め年に約40回。

大分から熊本まで参勤交代の道

の歴史に触れている感じがするのです。

東京から熊本まで、40人の子どもたち

は、いい道が沢山残っています。皆さん、是非これを活かしてください。応援は惜しみません。

【講師プロフィール】

熊本市の登山専門店「シェルバ」経

<p

